

プロジェクト研究報告

「美作大学技術交流プラザユニバーサルデザイン研究会」(20年度活動報告)

代表会員 小山京子

平成20年度に、つやま新産業創出機構(以下、機構)内において改革が行われ、ユニバーサルデザイン(以下、UD)研究会は、UD産業機構の重点支援部門ではなくなった。

しかしながら、これまでの活動実績並びに当研究会会員の継続の意思から、「つやま産学官民夢プラザ」内の任意団体として活動していくこととなった。

会員は、これまでの東洋繊維興業、加茂繊維、アド企画の3企業と、日本原荘、サンライフみのりの両弁護士、県産業振興財団(ハートフルビジネスおかやま)、県産業振興課、そして機構からオブザーバーとして2人、代表会員として小山の10人である。

UD研究会として参加した事業は、2008年7月

に行われた「UDほっとステーション・サテライト in つやま」である。会場では商品展示やその説明などを行い、10日間の期間中の来場者は1,300人にのぼり、県北でのUD啓発にわれわれの研究会も一役を買った。

1年間を通して新製品の発売はなかったが、それぞれ企業の立場から会員のアドバイスを受け入れ、UDを基本として、新しい切り口にエコ、健康などを取り入れた商品を開発中である。

UD研究会の今後の活動のあり方としては、UDを当たり前のこととして広く根付かせるために、会員相互に意見を出し合い、その中でよりよいUD商品を作り出していくことだと考えている。